

花植え体験 × 道徳「生きるってどんなこと？」

今回のテーマ

「生命の尊さ」

自然の生命を感じ取り、
感動する心をもとう。



※花植え体験後におこなった1年生の道徳授業を紹介します。

【資料の概要】

筆者である「私」は、小学校1年生の時にアサガオを育てた。風に吹かれても雨に打たれても、しおれることなく強く生きていたアサガオも、夏が終わるころしおれてしまった。とても寂しかったが、よく見ると花が咲いていた部分に種ができていた。どんなに小さな植物でもみんな平等に生命があり、それを絶やすまいと強く生きていくことを知った。「私」のきっかけは、アサガオを育てることであったが、どんなきっかけであれたくさんの人たちが命の大切さを考えてほしいと筆者は願う。

(資料：キラリ道徳 平田真由『ざぶん賞 2010 入賞作品』より)



【生徒の感想より】

- 1つのアサガオでこんなに命を大切にしようと思った
「私」はすごいと思う。優しいと思った。私も自分の命もだけど、動いたり、話せない植物や、言葉が通じない動物の命をととても大切にしようと思った。
- 私は道ばたの雑草やその辺りを飛んでいる虫なんて死んだとしても自分に関係ないことだし、見つけたら踏んだりしていたけど、それはだめだなあと改めて思いました。



環境が美しい心を生む？

心が美しい環境を生む？



どちらともいえるのではないのでしょうか。サッカー日本代表キャプテンの長谷部誠さんは著書の中で「整理整頓は心の掃除につながる。」と著しています。きれいになった部屋を見たら、心が落ち着くので、心がモヤモヤしたときこそ、心の掃除も兼ねて身体を動かし整理整頓をしているそうです。逆に、心に余裕があり穏やかであれば周りの環境に気を配ることができるのではないのでしょうか。田原中学校では道徳的環境づくりをすすめています。校舎内には先生方が「みんなに伝えたい言葉」をパネルにしたものがあちこちに展示されています。機会があれば立ち止まって味わってみてください。次に環境美化につながる花植え体験を紹介します。



～1年生「花植え体験」の活動から～

6月18日(火)6校時道徳の時間に1年生全員でプランターへの花植を体験しました。校務員の小田先生の指導の下、素手で土を混ぜ、肥料をまき班で協力して花を植えました。色とりどりのきれいな花が心を和ませてくれています。正門付近に置いてあります。ご覧ください。

